

令和3年度「進化する教室イノベーション事業」に係る授業動画の公開について
実施要項（徳島県立富岡東高等学校 羽ノ浦校）

1 目的

羽ノ浦校では、令和3年度から「進化する教室イノベーション事業」実施校として、電子黒板等のICTを活用した授業を行い、生徒の学びの質を高めるために「わかりやすい授業」や「主体的・対話的で深い学び」の授業実践をめざしています。その取り組みの成果を検証するとともに、広く成果の普及を図ることを目的として公開授業を実施します。

2 公開方法

徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校動画配信サイト

(https://tomihigashihanoura_hs.tokushima-ec.ed.jp) からのオンデマンド配信

3 公開期間

令和4年2月28日（月）から令和4年3月9日（水）

4 動画を公開する教科（科目）

（1）国語（国語表現・2年）

HR（講座）	21HR	実施教室	看護科2年生教室
科目（単元）	みんなで作ろう国語辞典		
ICTを活用する目的（ねらい）	①各班で自分たちが使っている若者言葉の流行語について、意味や語源・例文などを考え、ICTを活用して発表することで、言葉の意味や使い方の説明をクラス全体で視覚的に共有する。 ②言葉の説明として間違いはないか、過不足はないか、的確であるかを全員で吟味し、説明する力を高める。		
具体的な活用方法	①各班でまとめた若者言葉や流行語の意味や語源・例文についてのプリントを電子黒板に投影し、生徒が操作して発表する。 ②言葉の説明がよりの確になるように話し合い、電子黒板にタッチペンで説明を付け足したり、言い換えたりして書き込む。		
活用場面	導入・ <u>展</u> 開・まとめ		計8分程度

（2）地理歴史・公民（世界史A・3年）

HR（講座）	31HR	実施教室	看護科3年生教室
科目（単元）	第二次世界大戦の勃発		
ICTを活用する目的（ねらい）	地図や史料を電子黒板に投影し、大戦前後の関係国の動向を視覚的に理解する。		
具体的な活用方法	史料等を電子黒板に表示して説明をする。また、復習問題をMetaMiJi Classroomで配信をした。		
活用場面	<u>導</u> 入・ <u>展</u> 開・ <u>ま</u> とめ		計25分程度

(3) 数学 (数学 I ・ 1 年)

HR (講座)	1 1 H R	実施教室	看護科 1 年生教室 (ZOOM によるリモート授業)
科目 (単元)	数学 I (データの分析)		
ICT を活用 する目的 (ねらい)	① ZOOM 等を活用してリモートによるオンライン授業を行う。 ② データを表やグラフに整理することで、特徴を捉えやすくなることを理解させる。ICT を活用することで、データの整理がしやすいことを示す。		
具体的な活 用方法	① ZOOM を活用してプリントを画面共有し、また、生徒には MetaMoJi Classroom でプリントを事前に配付している。重要な単語については付箋を貼り、用語等を説明しながら剥がしていくようにしてオンライン授業を行う。 ② 電子黒板を利用して、度数分布表やヒストグラムを実際に書きながら説明して、表やグラフの見方について指導する。		
活用場面	導 入 ・ 展 開 ・ ま と め		計 1 5 分 程 度

(4) 理科 (科学と人間生活 ・ 1 年)

HR (講座)	1 1 H R	実施教室	看護科 1 年生教室
科目 (単元)	力学的エネルギー		
ICT を活用 する目的 (ねらい)	① 前時の復習テストを提示することで板書の時間を短縮する。 ② 力学的エネルギーに関する映像を投影することで視覚的に力学的エネルギーを理解させる。		
具体的な活 用方法	① 復習テスト問題を提示し、直接電子黒板を用いて説明する。 ② 電子黒板で NHK for SCHOOL を投影し、説明する。		
活用場面	導 入 ・ 展 開 ・ ま と め		計 2 6 分 程 度

(5) 英語 (コミュニケーション英語 II ・ 3 年)

HR (講座)	3 1 H R	実施教室	看護科 3 年生教室
科目 (単元)	Lesson10 The Five-story Pagoda of Horyuji		
ICT を活用 する目的 (ねらい)	① 1 人 1 台タブレットを使うことで、生徒が紹介したい場所や知らない単語を効率よく調べることが出来る。 ② MetaMoJi Classroom を使うことで発表原稿を共有でき、効率よく添削指導が出来る。		
具体的な活 用方法	① 生徒が紹介したい場所について発表する。 ② MetaMoJi Classroom の画面共有と、電子黒板に発表生徒の画面を映して見せる。 ③ MetaMoJi Classroom で発表後に生徒が互いに付箋でコメントを付ける。		
活用場面	導 入 ・ 展 開 ・ ま と め		計 1 3 分 程 度

(6) 看護 (小児健康生活支援論Ⅱ・専攻科1年)

HR (講座)	4 1 HR	実施教室	専攻科1年生教室
科目 (単元)	消化器症状を示す子どもの看護		
ICTを活用する目的 (ねらい)	①子供の症状や起こっている症状をイメージしやすくする。 ②発言が苦手だと感じている学生に、自分の意見や考えを表現する機会をつくる。		
具体的な活用方法	①プレゼンテーションソフトで苦痛を感じている児の表情や起こっている症状の写真やレントゲン写真を提示する。 ②MetaMoJi Classroomのグループ学習モードや一斉モードを活用し、意見を書き込み、共有する。		
活用場面	導 入 ・ 展 開 ・ ま と め		計 3 6 分 程 度

5 申込について

(1) 別紙視聴申込書に必要事項を御記入の上、随時本校担当までメールで申し込んでください。なお、視聴については、教職員の方に限らせていただきます。

(2) オンデマンド配信用のIDとパスワードは、随時各校代表メールに送付します。

(3) メールが届かない場合は、本校担当に電話またはメールでお問い合わせください。

進化する教室イノベーション事業担当

徳島県立富岡東高等学校 羽ノ浦校

教頭 澤田 孝利

電話 0884-44-2054

電子メール sawada_takatoshi_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

6 その他

(1) 公開する動画は、録画及びダウンロードはしないでください。

(2) 視聴された方は、動画公開サイトに記されたURLからアンケートに御協力ください (アンケート回答〆切3月9日(水))。